

大会に際し新型コロナウイルス対策に関する申し合わせ事項

大会開催にあたり、選手及び大会関係者の健康と安全を守り、また感染防止という社会的責任を果たすためにも、下記の申し合わせ事項に関し、周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 主催協会の運営責任者は、参加者リスト（指名、住所、連絡先を記載）を入手・保管するものとする。
チームの参加者に対し、全チームに「利用者名簿一覧（チーム用）」（添付資料参照）の提出を要請するものとする。
審判員・記録員・競技役員及び運営役員は「利用者名簿一覧（役員用）」へもれなく記載するものとする。
- 選手用ベンチは、最低1m以上の選手間距離が保たれるように、既設ベンチにとらわれることなく大きくベンチエリアを設置し、ライン引き等で明確に区分するものとする。
必要により、チーム所有の折り畳み椅子の持ち込みも許可するものとする。
- ベンチに入れるものは、打順表に記載された監督・コーチ・選手・スコアラー・トレーナー（学生種別は引率責任者）に限定し、それ以外のは球場内には入場できない。（基本無観客試合で行う。）
送迎等の父兄がおられる場合は協会の指定する外野のエリアで見学するものとする。
- バックネット裏の本部エリア（設置ライン内）には、競技役員・運営役員以外の立ち入りを禁止する。
- 選手や競技役員は、手が届く範囲（2m）に多くの人がいる状況を少なくするとともに、近距離や大きい声での会話を慎み、対面してでの食事を控え、飛沫感染・接触感染の防止に留意すること。
- チームの監督（代表者）は、自チームの選手・関係者の健康管理に責任を持ってください。
 - 当日発熱のある者については、試合への参加を自粛させ球場内に入場させないようにしてください。
 - 第1試合の打順表の提出時に、当日の健康状態を記載した「利用者名簿一覧（チーム用）」を大会本部に必ず提出してください。
 - 主催事務局は受理した「利用者名簿一覧」を保管するものとする。
- 選手や競技役員は、試合前後や飲食前の手洗い（消毒）・うがいなどの実施を心がけてください。
 - ベンチ内には給水設備がないため、主催協会の手洗い用の水などを準備するものとする。
 - 手洗い用のせっけんやハンド消毒液については、主催者が準備したものではありませんので、可能な限り、各チームでの準備をお願いいたします。
- ベンチ内の控え選手やバックネット裏の役員控え審判。記録員は、必ず感染予防マスクを着用のこと。
- 試合中、球審は捕手や打者との近接するため、感染防止用マスクを着用する。塁審はその限りではない。
- 試合前の集合はホームベース前には集まらず、選手・監督は自陣ベンチ前に整列し、審判員は捕手席の後方に整列してください。
 - 監督への打順表変更確認やベンチ入り選手の確認はこの体制にて行うものとする。
 - 審判員の紹介と監督との握手、また監督や選手同士の挨拶・握手も行いません。
 - 球審の「礼のコール」でベンチ前に整列した状態で挨拶とします。
- 試合後のゲームセット選告時も前項と同様の対処とする。
- 試合中の円陣組み・ハイタッチ（グータッチ・エルボタッチも含む）やハグ等の身体接触は禁止します。
- チーム代表者は、大会終了後2週間以内に、自チームの参加者に新型コロナウイルスの感染者が出た場合、その旨を速やかに主催協会理事長又は事務局に報告してください。
施設管理者あるいは行政より要請があり必要と判断された場合は場合は、「利用者名簿一覧」は公共機関に提出される場合もあることをあらかじめご了承ください。
- 感染防止用マスクを着用すると、のどの渇きを感じにくくなる場合があります。
体調管理はもちろんのこと、定期的こまめに水分補給に努めてください。
調子が悪く感じたときは無理をせずに、直ぐ近くの審判員・運営役員に申し出てください。